

新技術・情報名	種蚕人工飼料育蚕における増産方法	推進部会名	蚕系
実施場所	三重県農業技術センター蚕業部	分類	* ②

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

種蚕人工飼料育蚕の社会桑葉育体系において、繭重、繭層重が軽い傾向にある。これを解消する方法として社会期に夜間照明及び既に実用化されている生理活性物質(マンタ)散布と夜間照明の併用を実施する。

2) 技術・情報の適用効果

蚕期による差異はみられるが、夜間照明により5~10%の増加となり、更にマンタの併用を行えば、その効果は増大される。

3) 適用範囲

種蚕期に人工飼料育蚕を実施している養蚕農家

4) 普及指導上の留意点

経過の斉一化をはかり、又飼育温度が適温を大きくはすれない飼育施設が必要と思われる。

2. 具体的データ(図表)

1) 社会期における照明時期別試験<sup>a</sup>

蚕期	照明時期	項目		経過日数		収繭量c		繭重		繭層重		繭層量歩合	
		4齢 <sup>b</sup> ・5齢 <sup>b</sup>	対照区	日・所	kg	指数	g	指数	cg	指数	%	指数	
春	対照区			12	21	21.6	100	2.17	100	52.0	100	23.74	100
	全・全			13	17	22.9	106	2.32	106	57.1	110	24.61	104
	後・全			13	17	23.1	107	2.35	107	57.4	110	24.63	103
	後・前			13	04	22.9	106	2.32	106	55.5	107	23.92	101
	後・中			13	04	21.9	106	2.20	107	54.5	105	24.77	104
晩秋	対照区			12	17	19.4	100	2.10	100	47.0	100	23.50	100
	全・全			14	00	20.5	106	2.10	105	51.7	110	24.62	105
	後・全			14	00	20.7	107	2.12	106	51.5	110	24.27	103
	後・前			13	10	20.3	105	2.07	105	49.9	106	24.44	106
	後・中			13	10	19.8	102	2.02	101	47.4	101	23.47	100
	後・後			14	00	19.9	103	2.05	103	51.5	110	25.12	107

a. 実施年度: 1983年. b. 照明時期: 対照区は自然条件下で飼育し、試験区はそれぞれ次のとおりとした: 4齢後期(後)、飼食48時間以降; 5齢前期(前)、飼食後3日間; (中) 4~6日; (後) 6日目~上獲  
c. kg/1万頭当たり

2) 社会期における照明およびマンタ散布併用試験

実施年度	蚕期	試験項目	経過日数		収繭量		繭重		繭層重		繭層量歩合	
			日・所	kg	指数	g	指数	cg	指数	%	指数	
1981	春	照明	14	00	20.2	107	2.12	105	50.8	105	23.96	100
		照明+マ7	14	17	22.6	120	2.36	117	56.4	117	23.90	100
	対照区	12	21	18.8	100	2.02	100	48.4	100	23.96	100	
	晩秋	照明	14	00	16.6	104	1.91	108	48.0	111	25.13	103
照明+マ7		14	00	18.1	113	2.06	116	52.0	121	25.24	103	
1982	春	対照区	13	00	16.0	100	1.77	100	43.1	100	24.35	100
		照明	14	02	22.2	106	2.25	105	57.2	108	25.42	103
	照明+マ7	14	21	24.1	105	2.59	120	65.4	123	25.25	102	
	対照区	13	20	20.9	100	2.15	100	53.2	100	24.74	100	
晩秋	照明	14	00	18.7	102	1.99	105	47.3	111	23.77	105	
	照明+マ7	14	18	19.5	106	2.06	109	48.9	115	23.74	105	
	対照区	13	16	18.4	100	1.89	100	42.6	100	22.54	100	

3. その他特記事項

種蚕人工飼料育蚕の社会桑葉育における光線管理試験. 昭56~58. 県単